

第30回 今後も介護市場拡大

中国共产党は1979年より導入された「一夫一妻」政策を転換すると発表しました。日本と同様に高齢化が進み、労働力不足や社会保障費の増加が大きな問題となり、一人っ子政策の転換に踏み込みました。将来の人口減を出生数の増加でカバーしていくという政策です。

しかし上海の女性の間では政策転換について疑問視する声が少なくありません。子供にお金がかかり過ぎる教育事情があり、女性からは「2人も子供を産むのはとんでもない」という答えが返ってきました。上海の子供達は学校から戻ると宿題、塾と習い事等で忙しく、休日も遊ぶ暇はありません。これが「一人

人口比率は2012年の9・4%から2035年には19・5%まで上昇すると言われており、現在の状況で

人の祖父母と2人の両親を1人で介護する「421家庭」などが増加してきて、在宅介護が難しくなってき

問題になります。

現在の日本

の高齢社会、続いて中国の高齢化を考えると、今後アジア全体の介護ビジネス需要は急激に膨らんでいくでしょう。2020年のアジア全体の65歳以上の高齢者は4億人を超えることになりました。またまだ高齢者マーケットは勢いよく広がりそうです。

今年も中国の旧正月春節

中国の高齢者マーケット

～介護・不動産事業の行方～

著者プロフィール
ゲストハウス社長。2007年から高齢者住宅リボーンシリーズを開設。中国市場開拓を目指し、上海に中国シニア事業会社設立。



老後の「準備」 かぶ

高齢者、介護職80名参加

在宅の事例を発表

統講座として開講してお
り、今年も全12回を予定
し、それらを念頭に置い

ができる。(英理事長)
後半では、英理事長自
身が体験した在宅医療の
4つの事例を発表。いず
れも自身の医療希望をは
つきりさせる事と、親族

▲講義の様子

体づくりに注力

「あしつよ」2号店

立区)は2月1日に2店舗目のデイサービス「あしつよ巣鴨」を豊島区にオープンする。午前と午後の二部制でそれぞれ定員10名。文京区にある一号店でも好評のエアロビ、ヒーリングのイン

テラクターによる「体づくり体操」と、床暖房による快適な空間が特徴だ。

1月15日に居宅訪問介護事業を行うマルシモ(東京都豊島区)向けの内観会を開催し、参加した10名のケアマネジャーは実際に利用者が行う約50分の体操を体験。「思ったよりもハードだった。これは本当に足が強くなる」と、佐藤康広管理者は「介護予防に繋がるだけではなく、マンネリ防止のために感想を話し、毎回動作やメニューを変えていた。こえてるので、飽きずにの体操は一下子に座り、京区で好評を得た理由のリズムに合わせ手や足を動かす有酸素運動で、足腰を強化し自立したい。そのためこの事業で、所へ訪問看護を隣接させ手厚く見ることに注力して歩ける」。



介護・福祉・医療業界シンポジウム開催
（東京都世田谷区）は

星医療器(東京都足立区)は2月1日に2店舗目のデイサービス「あしつよ巣鴨」を豊島区にオープンする。午前と午後の二部制でそれぞれ定員10名。文京区にある一号店でも好評のエアロ

ビ、ヒーリングのインテラクターによる「体づくり体操」と、床暖房による快適な空間が特徴だ。

▲体操を体験するケアマネ